

自昭和十九年八月一日  
至昭和十九年八月三十一日

# 陣中日誌

獨立混成第十五聯隊速射砲中隊

21437

149

陸軍省軍務局軍務課

# 新中日

陸軍省軍務局軍務課

八月一日  
晴天(火)  
古堅

一、〇〇〇	佐藤小隊長指揮、下砲隊練習ヲシム	佐藤小隊長
二、〇〇〇	佐藤小隊長指揮、許三砲隊練習ヲシム	佐藤小隊長
三、〇〇〇	予行演習ヲシム	予行演習
四、〇〇〇	田中軍曹ヲシテ予備被服トシテ布四枚編上靴四足	田中軍曹
五、〇〇〇	毛布個包等ニテ被服セシム	毛布個包等
六、〇〇〇	田中軍曹指揮、予備被服トシテ布四枚編上靴四足	田中軍曹
七、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
八、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
九、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
十、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
十一、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
十二、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
十三、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
十四、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
十五、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
十六、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
十七、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
十八、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
十九、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹
二十、〇〇〇	陸軍軍曹	陸軍軍曹

陸軍省

武藤小隊

陸軍上等兵 佐々木源作

陸軍一等兵 渡辺省三

同 菅野安太郎

七四〇〇佐藤小隊ヨリ勤務要員トシテ左記ノ者中隊本部

二級隊ヒシム

陸軍伍長 三橋久夫

陸軍一等兵

平野定次

陸軍一等兵 佐藤春男

同

井上信一

陸軍一等兵 柳春春

獨逸軍第三號 八一九三〇獨逸混成第十五聯隊命令要旨左ノ如シ

一兵進級ニ関シテ命令別紙受領

三第三項省略ス

三衛兵ヲ些分間左ノ要領ニ依リ服務スハシ

ノ立哨位置運動場東北入口トシテ食所限リ起床所限リ

陸軍小隊部

陸軍

糧秣集積場附近トス

二軍哨トシテ三線交代トス

四第四項省略

九兵進級中隊附係左ノ如シ

陸軍一等兵

清野和夫

陸軍衛生上等兵

橋本治

命陸軍上等兵

陸軍衛生上等兵

小野研二

中隊命令一。陸軍二等兵 井上信一

陸軍二等兵

同 林次男

同

二瓶利男

同 大平敏一郎

同

緒形信次

同 平野定七

同

佐藤幸一

同 草野昌夫

同

吉田富太郎

同 伊藤代吉

同

吉田富太郎

命陸軍一等兵(七月十一日附)

八月二日  
晴天(水)

一、二六〇〇中隊兵器関係梱包整理、任藤小隊員左記  
隊セシム

兵器掛下士官 陸軍軍曹 相澤 三郎

一〇八〇〇各小隊長人事関係打合せ、中隊本部ニ集合セシム  
二〇九〇〇部隊衛兵トシテ司令以下九名服務セシム

司令陸軍兵長 一條又市 歩哨 陸軍一等兵 鈴木勲

歩哨掛陸軍上等兵 橋沼富則 同 同 村上克治

歩哨 同 上村及之助 同 同 平野定七

同 同 清野和夫 同 同 井上信一

同 陸軍一等兵 藤倉隆

三〇九〇〇日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

陸軍中隊長 佐藤市四郎  
陸軍伍長 皆川 慶

陸軍小隊部

攪混命令ニ就

四一〇〇〇下士官以上隊長室集合人事関係教育ヲナス

一、兵、掌櫃進級ニ関スル件

二、人事、運衛ニ就イテ

五一三〇〇各小隊長分宿小隊ニ既隊セシム

六一六〇〇獨立混成第十五聯隊命令左ノ如シ

一、第一項——第五項省略

六、明日爆薬運搬整理、タノ正通、使役兵ヲ差出シ兵器

本員藤本中尉、指示ヲ受ケシムヘシ

一、時間 七時三〇分

二、兵器本員室前

三、差出人員 二兵一。TA 五 IA 五

八月三日

晴天(水)

一〇七三〇彈藥整理、タノ正通、使役兵以下四名兵器本員ニ差出シ

藤本中尉、指示ヲ受ケシム

古野

二〇九〇日直勤務トシテ正記、若服勞トシ

陸軍准尉

陸軍軍曹

伊本秀男

岡田茂久

獨立司令部

三二五〇獨立混成第十五聯隊命令

第一項 第三項 旨略

三三記配布

將校職員表 中隊關係五、如シ

長	(步)	中尉	古川 千代喜	昭 10
速砲附	(步)	少尉	武藤 仁雄	昭 19
同	(步)	同	佐藤 喬	昭 19

獨立第一號

四二〇〇獨立混成第十五聯隊命令五、如シ

一軍ハ後續師團ノ來着ニ伴ヒ警備地已ヲ變更シ旅團ハ國頭地已ノ警備ニ任ス

二聯隊ハ伊江島警備隊ヲ併セ指揮シ本部地已隊トナリ

原 小 出 知

屋敷地島 港東方約一軒 無名島 宇和東端の連嶺 警備地  
地已ノ警備セントス

假縮獨立砲兵第百大隊ノ一小隊ヲ配屬セシム

三各隊ハ本三日夜ヲ徹シ材料資材ヲ比羅川埠頭ニ集積

シ明日材料塔載掛ノ指示ニ依リ塔載スベシ

四塔載掛トシテ各本部ヨリ將校一各中隊ヲ下士官以下

十五名ヲ明日四日〇八〇〇連ニ埠頭ニ運出シ塔載掛ノ指揮

ヲ受ケシムベシ

五聯隊本部、第一大隊獨立中隊ノ移駐地ハ渡久地トシ

第二大隊ハ今歸ルニ移駐スベシ

設營、爲第一大隊ヨリ將校一各隊ヨリ下士官一兵ニヲ

明四日一三〇〇本部ニ第一及第二大隊ハ讀谷地國民學校

前ニ差出ル聯隊副官ヲ指示シ受領スベシ

設營者、爲自衛隊一ヲ配屬ス

晴天(金)

八月四日

藤本中尉ノ指揮ニノラシム

- 一〇〇〇〇荷物搭載係トシテ相澤軍曹以下十八名荷物搭載係
- 一〇一五〇〇下給係トシテ煙草(金鷄)五個宛下給マラル
- 九三三〇中隊全員集合トシテ注意ヲ與フ
- 中隊異動ニ期シ人員ノ掌摑及梱包輸送ニ既クテ
- 一〇一九〇〇日直司令トシテ服務マシム
- 九三三〇中隊全員集合トシテ注意ヲ與フ
- 七同時本部梱包輸送ノヲ使役トシテ一條兵長以下十名本部
- 經理室ニ差出シ服務マシム
- 六中隊全員ニテ作命第一七號ニ依リ比謝川埠頭ニ中隊兵器
- 彈藥行李梱包ヲ搬送セシム
- 五二一〇〇佐藤中隊小隊長以下全員令番地ヲ離レテ隊
- 集結セシム
- 六各隊ハ明日五日一〇〇〇迄ニ出發シ諸準備ヲ完了スルニ

東京小部隊

三〇〇〇設営隊トシテ下士曹以下三名聯隊副官 許三雄出  
 二聯隊副官ノ指示ヲ受ケシム

長 陸軍軍曹 岡田茂夫  
 上曹兵 佐藤春男  
 下曹兵 鈴木盛

三〇九〇〇荷物集積場係兵トシテ司令以下三名服務セシム

司令 陸軍兵長 植木藤一郎  
 上曹兵 先崎久隆

歩哨掛 鈴木清春  
 一等兵 柳清春

歩哨 井上信一

四〇九〇〇日直勤務トシテ五名ノ者服務セシム

陸軍曹長 佐藤市四郎  
 陸軍伍長 會田文一

五ニ三〇〇式藤少尉以下三十名集積荷物船載り此船に推

頭ニ差出し藤本下尉、指示ヲ受ケルム

独逸軍第三號六一五三〇獨立混成第十五聯隊命令省略

第七〇八四〇獨立混成第十五聯隊命令

一聯隊ハ中頭地ニ警備ヲ新ニ到着セル第二師團ニ移譲シ  
有力の一部ヲ以テ伊江島ヲ主力ヲ以テ遠天港、安和以北、  
北區ヲ確保ス

二第三大隊ハ渡久地附近ニ派遣セル部隊ヲ撤シ前任務ヲ  
續行スベシ

機関銃一輕機三、擲彈筒四、小銃五〇、軍刀四、通信機  
材若干ヲ主トシテ所屬隊及青年學校生徒ヲ以テ戦力  
ヲ強化スベシ

三各兵備隊ハ將校一名ヲ残置シ交替所團ノ引継ニ任ゼン  
ベシ 本部ハ因澤大尉トス

陸軍

四 各隊ハ明五日夜警備ヲ撤シ一八〇〇以降先任者ノ指揮ヲ

以テ各々兵備地ヲ究シ名護ヲ經テ第二大隊ハ仲宗根  
第一大隊ハ謝花(渡久地北方約三村)ニ向テ前進スベシ

本部ハ第一大隊ト同行スルモノトス  
五高級主計ハ移動間ニ於テ給養、タメ左記地莫ニ所要、  
糧秣ヲ集積スベシ

第一日 (1) 恩納村 第二大隊、今本部獨立大隊、今

第二日 (2) 越日原 第一大隊、今

六本部各隊ハ所屬人員ヲ設置シ職務ヲ整理シタル後  
先任者ノ指揮ヲ以テ成レ可ク速ニ本隊ニ追及スベシ

七假締獨立重砲兵第一大隊、一小隊ハ八月四日嘉手納  
ヲ發シ八月〇八〇〇渡久地ニ於テ予ノ指揮下ニ入ル可シ

八通信班長ハ各々現通信網ヲ撤シ新設陸地ニ前進

各部隊間、通信網ヲ構成ス

八月五日

晴天(土)

一〇九〇日直前着トシテ正電ノ者服務セシム

陸軍准尉

仲本秀次

古堅ヨリ

二移動準備ヲナシム

熱田系ハ

三二〇〇式藤小隊長以下三十八名古堅國民學校出發熱田系

ニ向テ出發ス

八月六日

曇天(日)

於思納村

一〇六〇〇思納村到着同部着ニテ休養ス

二一三〇〇同部着ヨリ設營隊トシテ正電ノ者先行セシム

陸軍准尉

仲本秀次

三二二〇〇同地出發名護ニ向テ前進ス

八月七日

一〇六〇〇名護到着同地國民學校ニテ休養ス

陸軍小隊部

曇天(月)

於名護國民

學校

八月八日

曇天(火)

渡久地

二一六〇〇下給品等一人清酒一合宛配給ヲ受ク

三二二〇〇同所國民學校出發本部村渡久地ニ向テ前進ス

一〇六〇〇本部所本部國民學校 武藤小隊長以下三八名

無事到着中隊長、指揮下ニシム

二〇六〇〇荷物搭載隊ヲシテ残置セシ相澤軍曹以下十八名中隊

ニ復讐セシム

三〇六〇〇設營隊トシテ先發セシメ岡田軍曹以下三名中隊ニ復讐

セシム

獨立營第... 四一六〇〇獨立混成第十五聯隊命令中隊關係在、如シ

一速射砲中隊

陸軍上等兵

前山信一  
佐々木源作

陸軍兵長ヲ命ス

速射砲中隊

陸軍一等兵

佐藤茂男



陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス

陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス

陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス

陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス

陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス

陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス

陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス  
陸軍上等兵ヲ命ス

陸軍

陸軍

五、六三〇左ノ事項ニ付訓示ス

一、軍隊内務ノ敬正ニ就テ

二、敬政禮ノ最正ニ就テ

三、自己衛正ト作業ニ就テ

四、陸上地ニ於ケル秩序ニ就テ

六、二〇〇日直勤務トシテ記ノ取扱ヲセシム

日直士官 陸軍少尉 武藤仁雄  
日直下士官 伍長 吉川幸一

八、二〇〇日直勤務トシテ記ノ取扱ヲセシム  
八、二〇〇日直勤務トシテ記ノ取扱ヲセシム  
八、二〇〇日直勤務トシテ記ノ取扱ヲセシム

八月九日 一〇八〇第二大隊庫地偵察ヲム部隊長隨行員トシテ出張ス  
晴天(水) 二同時仲本港村以下三十名校舎裏山ニ於テ掩体構築作  
渡久地 業ヲササレメ一ニソコ解散セシム

早別隊

三一〇〇 日直勤務 陸軍部長 任藤市四郎  
 日直士官 小尉 任藤 喬  
 日直下士官 任長 會田文一  
 四一五〇 會田任長以下三五名本前二回ノ作業ヲ實施セシム  
 一六三〇 解散セシム  
 五一六三 集積所物部下搬送 會田任長以下三五名渡  
 入地増築ニ進出 藤本中尉 指示ヲ受ケシム  
 六二二三 集積所物整理 相澤軍曹ヲシテ渡久地埠頭  
 二差出 藤本中尉 指示ヲ受ケシムニヨリ 飯隊セシム  
 七一六〇 各隊長會同ニ出席ス 一七〇〇 會食ニ出席ス  
 八月十日 二〇〇〇 式服少尉以下五十名掩体構築作業ヲ實施セシム  
 二一〇〇 解散セシム

東京小隊

陸軍

二九〇〇 掩体構築作業 八人天トシテ地方民男女百名増援  
 作業ニ從事セシム 一六〇〇 終了セシム  
 三一〇〇 日直勤務 陸軍准尉 仲本秀男  
 日直士官 軍曹 相澤太三郎  
 四一三〇 水原任長小隊長及小隊陣地偵察ヲシテ 謝花嘉津  
 守方面ニ出張セシム 一八〇〇 飯隊セシム  
 五一五〇 仲本准尉以下四十五名作業ニ從事セシム 一七〇〇 解散  
 セシム  
 二六〇〇 獨立混成第十五聯隊命令  
 一 獨立日命第三五號第四項日課時限中  
 日々兵隊 二〇時三〇分トアルヲ 二〇〇〇分ニ  
 洋燈 二時三〇分トアルヲ 二〇〇〇分ニ各變更ス  
 二 第三項 第八項省略

獨立混成第十五聯隊命令



故ニ其ノ所備ハ最堅固ニシテ敵ヲ滅スル覺悟ヲ必ク時ニ并  
 備ニ域ノ擴大ナレヲ思フ時其ノ氣概一以テテ破ルノ期ヲ  
 一ニテガレハカラス而シテ百戰必勝ノ信念モ氣概ニ周知是健  
 準備ト訓練トヨリ進ムルニテハ之ヲ爲メ我々ハ全智全能ヲ  
 盡シ凡レテテ段チ法ヲ盡シテ完壁ノ施設ヲ講ゼントス 諸子  
 ハ宜シク武技ヲ錬磨シ防禦ノ完結ニ心血ヲ傾注シ一處敵ノ來  
 ルス其ノ防禦ニ依リ平素ノ技術ヲ發揮シ任務ヲ遂行セヨ  
 切望ス 最後ニ當リ駐屯間ノ注意ヲ與フ

一 軍紀風紀ヲ確立シテ以テ部隊ノ特色ヲ發揮スルニ  
 二 健康ニ注意セヨ

三 敬礼ノ嚴正

四 一ニシテ直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

日直士官 陸軍少尉 武藤仁雄

下士官 軍曹 田田茂夫

東京小隊

陸軍

五一五〇〇 武藤小隊長以下三十八名掩体構築作業ヲナサレム

一七〇〇 解散セシム

六一七〇〇 會田伍長以下五名集積荷物運搬、タノヲ主計大尉

ノ許ニ進出シ指示ヲ受ケシム 一九〇〇 飯塚大尉以下五名

七一九〇〇 岡田軍曹以下十名下給品(煙草)上六平ヤ究六三名分發領

セシム支給セシム

一〇九〇 陣地構築及分宿地偵察、タノヲ謝花桃原方面に出張

一五三〇 飯塚

小隊長 陸軍少尉 武藤仁雄

同 同 佐藤喬

分隊長 同 伍長 會田文一

二〇〇〇 武器被服ノ中ノヲナサレム

三一〇〇 日直司令トシテ服務ス

八月十二日  
 晴天(土)  
 渡久地



司

佐藤軍少尉

佐藤 喬

(七月一日附)

五省略

八月十四日 一八三〇各分宿小隊陣地構築指導、謝花北里ニ出張ス

暗火(日) 二九〇〇佐藤小隊陣地構築、〇〇北里部落ニ分宿セシメ第二

連入地 大隊、給養ヲ受ケシム

小隊長 陸軍少尉

佐藤 喬

第一分隊長 陸軍伍長

三橋 久夫

第二分隊長 同

吉川 幸一

第一分隊 兵前山信一 鈴木涼次 瀬谷初男 上板橋政敏

一見山十代吉 上柳清春 一林次男 一平野足七

一草野昌久

第二分隊 上佐藤百太郎 上曾田武三 兵植木善郎

東京小隊

陸軍

一佐藤親天 一佐藤 正 一佐藤茂男 一吉田富十郎  
一井上信一 一佐藤幸一

三〇九〇相澤軍曹ヲシテ追加兵器トシテ輜重車ニ台ヲ受領  
セシム

四一二〇〇日直勤務トシテ左記、者服著セシム

陸軍軍曹

相澤 太三郎

五本日ヨリ毎日昼食部隊本部ニ於テ解散會食セシム

六一二〇〇第五中隊兼井小隊長以下三十八名中隊兵室ニ赴  
居セシメ夕食ヨリ中隊、給養ニ入カシム

獨立混成第十五聯隊命令省略

八月十五日

踏火(火)

獲久地

一三〇〇武藤分宿小隊ヲ連絡、夕ノ左記、者來隊一六〇飯隊  
セシム

陸軍軍曹

岡田 茂夫

<p>二二〇〇日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム</p> <p>日直士官 陸軍准尉 仲本秀男</p> <p>日直下士官 任長 皆川 忠</p> <p>二一六〇華麻濱ニテ靜養中ナル左記ノ者治癒式藤小隊ニ分宿セシム</p> <p>陸軍任長 皆川 忠</p>	<p>獨混日直勤務號 四一六〇獨立混成隊第十五聯隊命令省略</p>	<p>八月十六日 一〇八三〇各分宿小隊連絡ヲメ左記ノ者出張セシム一四〇〇</p> <p>曙天(水) 飯隊セシム</p> <p>陸軍准尉 仲本秀男</p> <p>陸軍兵長 一條又一</p>	<p>八月十七日 一〇〇〇佐藤分宿小隊ヲ左記ノ者連絡ニ來隊一六〇飯隊</p>
---	-----------------------------------	---	--

東京小隊部

陸軍

<p>陸軍曹長 佐藤市四郎</p> <p>四〇九〇兵器會報ニ左記ノ者兵器掛下士官トシテ出席セシム</p> <p>陸軍少曹 相澤 太三郎</p> <p>五一四〇佐藤分宿小隊長陣地構築ノ件ニ就テ報告ヲ來隊</p> <p>一六〇〇飯隊セシム</p> <p>六一二〇〇白蓮副官トシテ左記ノ者服務セシム</p> <p>陸軍曹長 佐藤市四郎</p> <p>七一六〇獨立混成隊中隊聯隊命令省略</p> <p>八同時ノ日中行事豫定表別紙受領ス中隊簡係左如シ</p> <p>八月四日 八月八日 部隊移駐 八月九日 兵器検査</p> <p>八月十日 八月三十日 作業 八月廿一日 陣地復舊</p> <p>八月二十日 中隊長訓話 八月廿五日 中隊長訓話</p>	<p>獨混日直勤務號 七一六〇獨立混成隊中隊聯隊命令省略</p>	<p>八月十七日 一〇〇〇佐藤分宿小隊ヲ左記ノ者連絡ニ來隊一六〇飯隊</p>
---	----------------------------------	--

晴天(不)  
窪久地

七〇八

陸軍上等兵

佐藤茂男

二二〇〇日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

日直士官

陸軍准尉

伴泰秀男

日直下士官

陸軍少曹

相澤太三郎

獨逸會第四號 三一六〇獨逸兵隊第十五聯隊命令要旨左ノ如シ

一 第一項 第二項 省略

二 八月廿五日 軍官民合同獨逸會ヲ行フニ付本部各隊

會報 四回時會報左ノ如シ

一 八月廿二日 軍官民合同獨逸會ヲ行フニ付本部各隊

八 出場者ヲ選定シ十九日十二時迄特異射撃報告書

六 同日部隊内務巡視講評別冊受領セシム

八月十八日 一〇九〇部隊長兼指揮官地視察隨行員上等出陣

東京小隊

陸軍

晴天(金)  
渡久地

三〇九〇佐藤分隊小隊ヨリ連絡トシテ左記ノ者來隊一〇〇

飯塚七三

陸軍一等兵

鈴木榮治

三一〇〇〇日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

陸軍軍曹

相澤太三郎

四一〇〇武藤分隊小隊ヨリ作業器具修理トシテ左記ノ

者來隊一〇〇飯塚セシム

陸軍上等兵

曾田武

獨逸會第四號 五一五〇獨逸兵隊第十五聯隊命令要旨左ノ如シ

一 第一項 第二項 省略

四 農作物増産ニ関シ軍參謀長ヨリ協力サレタマフ旨通牒

下リタルニ付各隊ハ左記ノ日時内ニ備役者ヲ休養セシム

ノ廿五種植付夕ノ八月廿日ヨリ四日間

又野果採集夕ノ八月下旬ニ至日間



六一六〇武蔵分隊小隊ヨリ給養事務整理ノ夕ノ左記ノ者  
來隊一〇〇飯隊七〇〇

陸軍少曹 國田英夫

八月十九日  
晴天(土)

一〇八〇各小隊陣地構築指導ノ夕ノ出張ス一五三〇飯隊ス  
陸軍少曹 相澤太三郎

復久地

陸軍上等兵 二〇〇〇飯  
二一〇〇左記ノ者ヲシテ登山地會報ニ出席セシム

陸軍曹長 佐藤中士郎

三一〇〇日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

陸軍少曹 相澤太三郎

四一四〇先ニカタール性肺炎ニテ那覇陸軍病院ニ入院加療中  
十七左記ノ者治療八月十六日退院本日中隊ニ飯隊セシム  
夕食ヨリ中隊給養下ニ入ラシム

東武小隊

陸軍

獨逸會報

五一五〇獨立混成第十五聯隊命令要旨五ノ如ク

陸軍上等兵 泉中士 倉田中士

一省略

會報

六同時會報五ノ如ク

明二十日〇七〇〇ヨリ醫務室ニ於テ体重測定ヲ行フ依リテ

工兵中隊第廿中隊一〇小隊 聯隊砲中隊 R本部

遠射砲中隊 平山隊又順序ヲ以テ作業開始前ニ通

信隊入口ニ集合ス

獨逸會報

七〇〇〇獨立混成第十五聯隊命令省略

八月二十日  
晴天(日)

一〇八〇武蔵分隊小隊ヨリ被服給養事務整理ノ夕ノ左記ノ  
者來隊一六〇飯隊七〇〇

陸軍少曹 日茂泰



ニ糧秣運搬ノタメ五加兵力ヲ差出し村上少尉、指示ヲ受  
ケシカヘシ

工兵中隊六名 聯隊砲中隊一〇名 連射砲中隊一名  
場所 經理室前 時間 七〇〇

服裝 所着衣袴 地下足袋

三等三寅第四項首略  
四同日兵團長會同席上軍參謀長口頭要旨別冊受領ス  
五同日台灣軍司令官訓示受領ス左ノ如シ

戰局ノ推移日ニ急ニシテ皇國ノ運命ヲ決スヘシ機局ハ正ニ  
眼前ニ展開セリ 南西諸島及台灣ハ大東亞戰業地城

ノ軸ニ位置シ特ニ本島及南才園域トノ緊要唯一ノ連絡  
園域トシテ皇國戰業遂行上絕對確保ヲ要スル地帯

而シテ敵ノ企求スル所正シテ此ノ要域突破ニ其ノ重兵ヲ指  
向スベク太平洋戰局ノ大勢ヲ決スベキ彼我決戰ノ意起

東京小津路

陸軍

軍ノ動向戰局ノ近道ニ糧秣運搬戰備ヲ増強シ敵ノ來攻ニ方  
リテ必ズ皇軍ヲ基礎固キ陸海空一休ノ綜合戦力ヲ集中シ敵

而シテ敵ノ戰術的優位ヲ奪取シ戰局ヲ指導シテ一舉敵ヲ  
粉碎スルコトヲ期スルニ

諸官ハ精進シ戰敵ヲ軍一入又撃テ加ハテ之ヲ擊滅スルノ好  
機ヲ察シ糧秣運搬直ニシテ先遣高機揚陸軍隊ノ團結ヲ再鞏固ニシ

給糧給彈等戰業準備ノ完成ニ必死ノ努力ヲ傾倒シ烈々タル  
必勝ニ信スルノ中戰業遂行ノ勇躍ノ勇氣ヲ養ヒ皇軍ノ重責ヲ加ハ

テ奮然ニ戰業ヲ遂行スルニ期スルコトヲ以テ皇國ノ一歩戰  
業ノ成功ニ必ズ本邦地已隊命令

各地に傳へテ大機動ニ對シテ戰業遂行ノ勇氣ヲ養ヒ皇軍ノ重責ヲ加ハ  
テ奮然ニ戰業ヲ遂行スルニ期スルコトヲ以テ皇國ノ一歩戰業ノ成功ニ必ズ

本邦地已隊命令

獨逸軍號

第六  
第六  
第六

八月二十三日  
晴天(天)  
窪久地

一〇八三。伊豆味亦面地形偵察ノ多ク左記ノ者伴ヒ出張ス

陸軍推射 仲本秀男 陸軍口書 相澤六三郎

二〇八三。在藤倉宿小隊長以下五名砲臺宿小隊長等ヲシテ

飯隊也

三〇八三。糧秣運搬便役上等一隊兵長等四名各分宿小隊ヨリ先崎

上草丈以下七名掉頭シ差出シ石津少隊ヲ指揮ス

四〇八三。日直勤務外ニ在テ、諸隊務ヲシテ、

陸軍推射 仲本秀男

相澤六三郎

陸軍口書

獨逸會多號

五一三三。獨逸會多號第五隊隊員分宿宿日等

第一項 第四項 宿日等

五別隊對面ニテ、

獨逸會多號

六一三三。本部也已隊命令

陸軍 獨逸小隊

一貨物箱一三〇日、窪久地港外ニ到着ス

二部隊ノ貨物ノ揚陸ヲ為シ

三各隊ハ明二十日、七〇五號人員ヲ窪久地掉頭シ差出シ村

上少尉ノ指示ヲ受ケル

二兵中隊六〇名步兵砲中隊一〇名連射砲中隊六名

第一大隊二五名

四第四項第五項宿略

六千ハ本部國民學校ニ在リ

七一五三。軍官民合同演藝會開始一八三〇終了ス

隊長以下全員見舞ヒセシム

八一七〇。下給品トシテ清酒(一ノ合)及蓬菜豆(三人一袋)下給セラル

八一九〇。分宿小隊連絡ノタメ左記ノ者出張セシム

陸軍兵長 一條文一

八月二十三日  
晴天(水)

渡久地

- 二〇〇〇相澤軍曹ヲテ増加兵番トシテ左記受領セシム
- 一 大正三
- 三二〇〇日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

陸軍少曹

相澤 水三郎

會報

- 四二〇〇同日會報要旨左ノ如シ
- 一 便所採取ノ及便所衛生ニ就テ
- 二 糞ノ配除方法ニ就テ
- 三 瘧冷ニ候スル處置ニ就テ
- 四 水ノ節約ニ就テ

五二〇〇上等兵以上集合隊長ヨリ指揮班教育實施ニ

八月二十四日

一〇九〇佐藤曹長ヲシテ八月分兵下士官俸給ノ増俸及家族

晴天(木)

予當金貳百四拾貳円九拾參錢受領支給セシム

渡久地

二〇九〇佐藤武藤兩分宿小隊陣地構築状況視察並指導

渡久地小隊

三訂正

獨逸軍

六二六〇獨立混成第十五聯隊命令省略

獨逸軍

七二六〇本部砲兵隊命令省略

八二七〇公用銃四枚受領各分宿小隊ニ枚ツテ支給セシム

八月二十五日

一〇九〇相澤軍曹ヲシテ指揮班ニ射撃ヲ行演習ヲ實施指揮セシム

晴天(金)

二〇九〇佐藤分宿小隊ヨリ兵眷關係連絡ヲタテ左記ノ者來隊

渡久地

一一〇〇飯隊セシム

陸軍上等兵

曾田 武二

二軍部  
二軍部

第三軍命令	大同第三軍命令	自今特種彈使用ヲ禁止セラル
石本職ニ隨行ヲ命ス	陸軍中尉	古川千代喜
四 陸軍大尉	陸軍中尉	岡澤 英
二第一項第三項略	團司令部ニ出張ス	一 本職ヲ五日部隊長會同ニ出席ス
一 本職ヲ五日部隊長會同ニ出席ス	團司令部ニ出張ス	一 第一項第三項略
四 陸軍大尉	陸軍中尉	岡澤 英
石本職ニ隨行ヲ命ス	陸軍中尉	古川千代喜
大同第三軍命令	自今特種彈使用ヲ禁止セラル	

東京小隊

各部隊ハ敵ヲ擊滅使用ノ光澤化セルニ鑑ミ速カニ更新 ヲ行フニ當リ先ニ互期使用ノ口實ヲ與ヘ ル如ク最ニ注意スル	軍司令部	牛島 滿
一〇八〇日命第四九號ニ依リ部隊隨行員トシテ伊三島ニ 出張ス	陸軍伍長	三橋 大天
二〇九〇作業器具受領ノノ佐藤小隊ヨリ左記ノ者來隊ニ 飯隊セルム	陸軍軍曹	相澤 太三郎
三〇〇〇駐屯地會報ニ左記ノ者出席セルム	陸軍中尉	仲本 秀男
四二二〇日直勤表カトシテ左記ノ者服齊セルム	日直士官	日直士官

八月十六日

晴天(土)

護久地

白直下官

陸軍軍曹

相澤太三郎

五一五〇。各分宿小隊ニ事務連絡ノタメ至急者出張セシム

一九〇〇飯隊セシム

陸軍營長

佐藤市四郎

獨逸會社號

六一五〇。獨逸王親政第十五師隊命令

一。官路

二。軍司令官初是巡視ニ関シ到致指示ノ通リ八時ヲ以テ

七五〇。指揮班ヲシテ兵器ヲ入。實施セシム

八一九〇。軍司令官初途巡視明ニテ行ハニ付飯隊ス

八月二十七日

一。七〇〇陣地構築材料運搬ノタメ一條兵長以下六名ヲ經理官

暗天(日)

前ニ差出シ村ニ少尉ノ指揮ヲ受ケシム

窪久地

三。八三〇武蔵今宿小隊長陣地構築状況報告ノタメ來隊ス

三。一〇〇。日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

東京小隊

陸軍

八月二十七日

四。一三〇〇日直司令トシテ服務ス

五。一五〇〇。軍司令官閣下部隊本部巡視ニ關シ本三隊

六。一五五〇。隊長偵候式圖席表揚

七。一五五〇。獨逸王親政第十五師隊司令官略

獨逸會社號

八。同時會報ス

會報

一。軍司令官初是巡視ニ關シ閣下部隊將兵六ニ對シ慰問

二。明ニテ自前夜檢査事ヲ實施シテ付人名簿持參シ左記

三。三十九日

四。三十日

五。三十一日

六。八月二十九日

七。八月三十日

八。八月三十一日

九。八月三十一日

十。八月三十一日





